

大見出し

2040年問題の対策は

町長

10年後、20年後を見据えて昭和の高度成長時代のようなモデル

問

庁舎の件で町長は場所も見直すということを言われたが、そのことを小牧

町長

行政の継続性は、当然、継続すべきと考えています。

るように教育委員会として今後も支援して行きたいと思っています。

町長 人口減少を見据えたまちづくり計画を策定

問

私は2040年問題をこの4年間取り組み鞍手町の人口を全盛期の3万人にするにはどのような計画がよいかと活動をし、民間との連携で、ある程度の目途が付いています。

繋がるかどうかは、難しい状況ではないかと感じています。

先ずは、地道に、身の丈にあった、教育環境も含めた子育て環境の充実を図り、また、社会資本整備にしても地道な取り組みによって定住促進に繋がってきたいと考えています。

はつきりと「ここ」というよう説明はしておりません。ですから変わる可能性もあることにはなります。

町長

「公共施設の床面積を減らすには小学校の統合は必要と考えています」と発言されました。教育長は。

問

12月議会で、町長は「公共施設の床面積を減らすには小学校の統合は必要と考えています」と発言されました。教育長は。

教育長

学校というのは子ども達が自分の生き方を見つけ、次世代を担い社会の一員としても自覚をもち、家庭や地域と協力し、育てて行くところだと考えています。特に、小中学校という義務教育の9年間につきましては、子ども達の体、心、頭ということの、基盤を育む大変重要な時期だというふうに考えています。また、保護者の方々や地域の皆様

鞍手町の事業負担0円で旧鞍手北中学校、町有地の室木笹川用地の提案書を課長達に提出しました。が企業誘致等の考えは。

問

「政治とは夢とロマンと説得力」夢とロマンを持って、大きなことをやっていたいただきたいが。

町長

庁舎等の建設委員会の答申にしても議会の動きにつきましても私自身尊重はさせていただいておりますので、議会軽視にはあたらないと思っております。

町長
企業誘致がそのまま人口増に結び付くとは限らないと考えます。

町長

鞍手町の将来を考える時に本場に夢とロマンは必要なことだろうと思っております。

問

行政の継続性は。

問
町長は鞍手町の10年後、20年後のビジョンをどう描いているか具体的に。

います。